

**令和6年度予算主要事業の概要**  
**(事業別説明資料)**

**企画部**



## 目 次

市制 20 周年記念事業の推進 .....	3
市政広聴の充実 .....	4
シティプロモーションの推進 .....	5
平和な社会への貢献 .....	6
飛騨市ファンクラブの交流推進 .....	7
関係人口と共創するまちづくり .....	8
関係人口の調査研究とプロモーション .....	9
子育て世代と新たな関係を築く保育園留学 .....	10
台湾新港郷との友好交流の推進 .....	11
国の制度を活用した地域活性化人材の登用 .....	12

## **拡充** 市制20周年記念事業の推進

1 事業費 (単位：千円)		【財源内訳】		【主な使途】	
	15,108	合併基金	15,108	補助金	9,000
				委託料	5,000
(前年度予算	2,800)			その他	1,108

### 2 事業背景・目的

令和6年2月に市制20周年を迎えた飛騨市は、名実ともに一人前の自治体としてこれからも未来に向かって歩んでいく必要があります。

そこで、市制20周年を新たなまちづくりの出発点と位置付け、人口減少が進む中でも市民の皆さんが飛騨市への誇りと愛着を持ち続けられるよう、記念式典の開催や市民等によるまちづくり事業を支援することで地域の賑わいや活力の創出、まちづくりの担い手となる若手人材の育成を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【新規】市制20周年記念式典の開催及び記念誌の制作 (5,108千円)

飛騨市誕生から20年の歩みを振り返る記念誌を制作し、令和6年12月に開催予定の記念式典において来賓参加者等に配布するとともに、市内外の方にご覧いただけるよう市ホームページに掲載します。

また、記念式典ではより多くの市民の方にも参加いただけるよう、著名人による講演会を開催するとともに、未来を担う子どもたちの活躍を披露する場とするなど、市民参加型の式典として開催します。

#### ②【拡充】市制20周年記念まちづくり事業への支援 (10,000千円)

令和6年度中に実施される市民主体のまちづくり活動に対し次のように応援します。

- ・新規に実施する事業に対し、補助率4/5以内・上限100万円を補助
- ・従来事業に合わせ20周年記念として拡充する部分に対し、上限100万円まで全額補助
- ・市制20周年飛騨市応援寄附金として受領した寄附金を、上記補助金に上乗せ交付
- ・事業実施する際に発生する公共施設の使用料を減免
- ・イベント事業用の資機材修繕又は更新に対し、補助率4/5以内・上限50万円を補助
- ・市で制作する20周年公式キャラクターデータや啓発グッズを提供

※上記補助金の申請～交付に係る事務は、外部団体にアウトソーシングします。

担当課：企画部総合政策課 (☎0577-73-6558) 予算書：P.54

## 拡充 市政広聴の充実

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,870	一般財源	1,870 委託料
(前年度予算 1,328)		1,870

## 2 事業背景・目的

市では、16歳以上を対象とした市政世論調査や市長が直接市民と対話する「ほっとサロン」、市長の定期学校訪問などの様々な機会から、市民の声を丁寧に拾い市政運営に役立ててきました。

こうした取組みを進める中で、市政世論調査の回答率低下やインターネット回答を望む声、子ども達の意見を聞くコンテンツの不足、市長との対話面談を申請するハードルの高さなど、いくつかの課題が見えてきました。

このことから、令和6年度は市政広聴における心理的・物理的な障壁を取り除くことで、市民がより市に対して意見を届けやすい環境を整えます。

## 3 事業概要

### ①【新規】子ども世論調査の実施（ゼロ予算）

市内小中学校の協力のもと児童生徒を対象として、普段考えていることや市への要望などのアンケート調査を、授業で利用するタブレット端末を活用して実施します。

### ②【拡充】市政世論調査のDX化（1,870千円）

従来の印刷物による調査方式のほか、インターネットによる回答手法を追加するとともに、市民の幸福度（ウェルビーイング）に関する調査項目を追加します。

### ③【新規】復活！おでかけ市長室（ゼロ予算）

市内温浴施設等に市長が一日出向き、予約不要で市民が誰でも気軽に市長と対話することができる環境をつくれます。

### ④【継続】市長と車座トーク（ゼロ予算）

地域や各種団体等からの要請により市長と車座で気軽に語り合う場を設定します。

### ⑤【継続】市政目安箱「どうやなボックス」の設置（ゼロ予算）

市長直通の市民意見箱を本庁舎・各振興事務所に設置するほか、メール等でもご意見を受け付けます。

## **新規** シティプロモーションの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
7,040	補助金	3,500	委託料	5,667
	一般財源	3,540	謝礼	996
(前年度予算 0)			その他	377

### 2 事業背景・目的

飛騨市は、観光資源のみならず、人や暮らし、自然や町並みの風景、歴史や伝統文化など多くの魅力を有していますが、情報発信コンテンツの不足により認知度が低い状況にあります。このことから、市の魅力的なヒト・モノ・コトを発信するためのコンテンツを製作し、SNS等で発信するほか、各種キャンペーンやイベント、国要望や視察受入時など様々な場面で活用することで、飛騨市の知名度向上とイメージアップを図ります。

### 3 事業概要

#### ① シティプロモーションリーフレットの製作 (481千円)

市の概要や特徴、人口、イベント、政策、写真を掲載したリーフレットを製作します。

#### ② シティプロモーションポスターの製作 (1,583千円)

市を代表する町並みや風景、イベント等の素材に加え、市のキャッチコピーを付した4種類のポスターを製作します。

#### ③ シティプロモーション動画の製作 (2,965千円)

景色や風景、市民の暮らし、歴史や文化、行事など、市の様々な魅力をまとめ、みんなが楽しく心豊かに暮らせるまちのイメージが見る人に伝わるような動画を製作します。

#### ④ 政策立案ストーリーのプロモーション (726千円)

全国プレスリリース配信サービスを活用し、事業の誕生秘話や成功したキャンペーンの裏話など、企画から実施までの試行錯誤の過程や担当者の熱い思いなどを発信します。

#### ⑤ 政策プロモーションイベントの開催 (638千円)

市の特色ある政策の中から大きくPRする必要がある事業をピックアップし、市内外に発信する広報イベントを年2回開催します。

#### ⑥ 市民のプロモーション (647千円)

専門ライターが市民の取材を行い、その方の「人情」「やさしさ」「ぬくもり」「生き様」などを引き出して記事を作成し、広報ひだやホームページ、SNS等で発信します。

担当課：企画部総合政策課 (☎0577-62-8880) 予算書：P.50

## **拡充** 平和な社会への貢献

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,400	一般財源	2,400
		委託料 1,300
		費用弁償 568
(前年度予算 1,666)		その他 532

### 2 事業背景・目的

ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮によるミサイル発射、新型コロナの脅威といった近年の様々な出来事から、原油価格や物価の高騰など直接私たち市民の生活に影響が降りかかってくることを経験し、国際平和が保たれてこそ市民の安心な暮らしに繋がることを改めて認識することとなりました。

こうした中で、市として平和な社会実現に貢献していくため、市民の方々を対象とした平和教育の推進や平和について考える機会の提供を継続的に実施することで、市民の平和意識の更なる醸成を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【継続】平和教育の推進 (1,461千円)

- 応募対象者を市内の小中学生から高校生までに拡大し、自分が考える平和をテーマとした「平和なまち」絵画コンテストを実施します。
- 長崎市において毎年開催されている「青少年ピースフォーラム」へ公募による市内中学生10名程度を派遣し、戦争や核兵器の悲惨さや平和の尊さについて学ぶ機会を提供します。

#### ②【拡充】平和について考える機会の創出 (201千円)

- 市民等が考える「平和」をテーマとした短歌コンクールを開催します。
- 戦後79年を迎え、原爆や戦争を知る方々が高齢となり直接お話を聞くことが困難となりつつある中で、実際に原爆を体験した方を長崎市から招へいし、戦時中や被爆後の体験をお話いただく被爆体験講話会を開催します。

#### ③【継続】飛騨市平和都市宣言の策定 (738千円)

公募による参加希望者を含む市民等で構成された平和都市宣言検討委員会において、市民等の平和への思いや考えを広く反映しながら飛騨市平和都市宣言（仮称）を策定します。

## **改善** 飛騨市ファンクラブの交流推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
11,000	ふるさと納税	11,000	通信運搬費	3,520
			印刷製本費	1,745
(前年度予算 9,903 )			その他	5,735

### 2 事業背景・目的

飛騨市ファンに見える化を目的とした飛騨市ファンクラブは、令和6年1月現在で会員数が13,000人を突破し、全国に向けた市の魅力発信や認知度向上に寄与しています。これまでに実施した事業から会員の行動履歴を可視化したことで、居住地に関係なく飛騨市と積極的に関わってくれる「アクティブ会員」に見える化することができました。

令和6年度は、こうした情報を活用し、会員層に合わせたサービスを提案することで、飛騨市への関心や愛着を深めてもらい、会員とのより良い関係づくりを目指します。

### 3 事業概要

#### ①【継続】現地応援型会員向けサービスの充実 (2,255千円)

- ・市の地域資源を題材にした各部活動の実施により、地元住民と会員との多様な関わりづくりを推進します。(既設の部活動：薬草部、宇宙物理学部ほか、全9部)
- ・会員向け特典の継続 (おもてなしクーポン@1,500円分、宿泊特典@2,000円分)

#### ②【継続】イベント参加型会員向けのアプローチ (2,776千円)

- ・市外にいても飛騨市を感じていただけるよう、交流イベントを継続開催します。  
ファンの集い (東京、愛知ほか)、おでかけファンクラブ、バスツアーの実施

#### ③【改善】遠方応援型会員向けのアプローチ (2,098千円)

- ・おもてなしクーポンの利用や受け取りができる市内外のおもてなし店舗数及び、飛騨市ファンクラブが応援する推奨店舗数の拡大を図ります。

市内おもてなし店舗：66店舗 市外おもてなし店舗：2店舗 (令和6年1月現在)

推奨店舗：登録なし (R6年1月現在) 会員への店舗PR、飛騨市食材の利用促進

- ・ファンクラブオンラインショップによる市内特産品購入機会の創出

#### ④【継続】全会員に向けたアプローチ (3,871千円)

- ・飛騨市ファンクラブへの所属意識を高めるため、会員証や名刺の発行のほか、暑中見舞い (7月)、年末の挨拶状 (12月) を発送します。

担当課：企画部総合政策課 (☎0577-73-6558) 予算書：P.54

## **拡充** 関係人口と共創するまちづくり

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,886	ふるさと納税 2,886	補助金 1,200
		謝礼 767
(前年度予算 3,990 )		その他 919

### 2 事業背景・目的

飛騨市の関係案内所「ヒダスケ！」は、地域の困りごとと、それを助ける地域内外の方とをマッチングする仕組みとして令和2年度にスタートし、地域の課題解決や関係人口と市民との交流の契機として、現在では年間1,000名以上の方が参加する規模となっています。また、多くの自治体や議会による視察の要望を受け、この取組みが関係人口事業の先進事例として全国各地で評価されています。

令和6年度は、現在の取組みを継続しつつ、課題の掘り起こしと改善を行いながら、新たに市と縁のある企業等との関係性からヒダスケに繋げられる仕組みを創設し、更なる関係人口の増加を目指します。

### 3 事業概要

#### ①【拡充】多様な「ヒダスケ！」の運用 (1,886千円)

ヒダスケ参加者の声からマッチングする「さかさまヒダスケ！」や市外開催のイベントを現地で助ける「出張ヒダスケ！」のほか、新たに、企業が行うCSR事業と市内の困りごとをマッチングする「企業版ヒダスケ！」の仕組みを創設します。なお、企業版ヒダスケ！参加企業には、社員の滞在費等にかかる費用の一部を支援します。

#### ②【新規】飛騨市関係法人登録制度の創設 (ゼロ予算)

市と関係のある企業や、市に関心を持つ企業と繋がるために関係法人登録制度を開始します。登録企業には、企業版ヒダスケ！の活用や飛騨市サロンの開催案内など、飛騨市の情報を定期的に発信します。

#### ③【継続】地域課題解決と新たな関係人口を創出する事業者の支援 (1,000千円)

市内事業者が、一時的な人材不足の解消と自社の仕事・活動を通じた新たな関係人口創出を目指し、おてつたび等のマッチングサービスを活用して人材を受け入れる際に必要となるマッチング費用等の一部を支援することで、地域課題解決と新たな関係人口の創出を図ります。(1事業者1回上限10万円・単年度2回まで)



## **拡充** 関係人口の調査研究とプロモーション

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
7,114	ふるさと納税	3,614	負担金	3,500
	ふるさと基金	2,000	謝礼	800
(前年度予算 2,565 )	まちひとしごと事業基金	1,500	その他	2,814

### 2 事業背景・目的

飛騨市では、2019年から市と（国研）水産研究・教育機構、東京大学、楽天グループ等に所属する研究者らで構成する「未来のコミュニティ研究室」を設立し、飛騨市ファンクラブ会員等へのアンケートやインタビューを行いながら、観光客以上移住者未満と定義される「関係人口」の研究を行っています。その研究結果を「飛騨市ファンクラブ」や「ヒダスケ！」に活用しながら発展させ、現在は多くの自治体や議会の視察受入れや事例発表を行うなど全国的にも注目・評価されています。

令和6年度はこれまでの研究の経過や成果を広く発信し、市内外へのプロモーションを通じて更なる関係人口の創出と事業の認知度向上を目指します。

### 3 事業概要

#### ①【新規】飛騨市の関係人口に関する研究成果をまとめた書籍の刊行 (3,500千円)

未来のコミュニティ研究室における飛騨市の「関係人口」に関するこれまでの研究の経過や成果を、全国の企業等のご協力による企業版ふるさと納税を活用して書籍化し、市内外へのプロモーションを行います。

#### ②【拡充】「未来のコミュニティ研究室」設立5周年記念フォーラムの開催 (1,694千円)

飛騨市の関係人口プロジェクトや研究成果を市内外に発信し、地域全体で「関係人口」を受け入れていく機運を高めるために、有識者を迎え参加型のフォーラムを開催します。

#### ③【継続】関係人口や地域の活力に関する調査研究の推進 (1,920千円)

関係人口創出や地域の活力向上のメカニズムを引き続き研究するため、未来のコミュニティ研究室所属の研究者らが飛騨市でフィールドワークを行います。

また、関係人口を見える化し地域との繋がりを育む事業等を展開する(株)キッチンハイクが開発したシステムを活用し、飛騨市の関係人口の行動履歴等から属性や関係の深度を分析し、飛騨市における関係人口の見える化を図ります。

## **改善** 子育て世代と新たな関係を築く保育園留学

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,300	ふるさと納税	3,300 委託料
(前年度予算	0)	

### 2 事業背景・目的

近年、都市部の保育園に子どもを通わせる保護者からは、自然環境の中で子育てをしたいというニーズが多くなっています。また、市内では、少子高齢化により保育園児数が減っていく中で、市民から保育園を活用した移住体験を行ってはとの提案が寄せられたこともありました。

こうしたことから、市では、市民や都市部の子育て世代のニーズに応えるべく、民間事業者が提供する「保育園留学<sup>®</sup>※」を令和5年12月に導入し、受入体制や運用に関する実施検証を行ってきました。

令和6年度からは通年で受入れを行うなど事業規模を拡大し、田舎暮らし体験とのびのびとした自然環境の中で子育てができる機会を提供することで、新たな関係人口の創出・増加を図り、地域経済活性化につなげます。

※保育園留学<sup>®</sup>とは、株式会社キッチハイクが提供する地域と子育て家族をつなぐ留学プログラムで、全国で35自治体が導入（12月末現在）しており、2021年11月から2023年12月までの約2年間で400組の親子（約1,400名）の利用実績があります。

### 3 事業概要

民間事業者に委託し、年間を通じて9組の親子の受入れを行います。なお、他の保育園での活用や滞在施設の拡充を進めるとともに、休日の過ごし方としてヒダスケ等の各種施策とも連携を図るなど、子育て世代の新たな関係人口の拡大を目指します。

#### 【受入れの概要】

- ・受入保育園：飛騨市立河合保育園
- ・受入年齢：3歳～5歳（未満児は不可）
- ・滞在施設：Guesthouse Chakra、  
吉城の郷 ふるかわ
- ・滞在期間：1週間から2週間
- ・飛騨市ファンクラブ会員は、宿泊特典やおもてなしクーポンの併用利用が可



担当課：企画部総合政策課（☎0577-73-6558） 予算書：P. 55

## **拡充** 台湾新港郷との友好交流の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
10,900	ふるさと納税	10,900
		費用弁償 3,882
		普通旅費 2,560
(前年度予算 6,000)		その他 4,458

### 2 事業背景・目的

飛騨市と台湾新港郷との交流は平成6年から民間で始まり、平成29年には自治体間交流として友好都市提携を結びました。令和2年からの約3年間は新型コロナウイルス感染症の影響により相互の渡航が叶いませんでしたが、その間もオンラインを活用した様々な交流を重ね親交を深めてきました。

令和6年度は民間交流開始から数えて30年の節目を迎えることから、新港郷で開催される30年に亘る交流の歴史を振り返るイベントへの参加や、より若い世代が新港郷との交流に携わることができるよう青少年交流機会の増加を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【新規】飛騨市・台湾新港郷友好交流30周年記念式典への参加 (8,310千円)

令和6年7月に台湾新港郷にて開催予定の友好交流30周年記念イベントに「友好都市飛騨市」として参加します。併せて民間旅行会社と共同で市民等の台湾新港郷訪問ツアーを企画し、市民等と一緒に記念の一年をお祝いします。

なお、現地イベントでは、これまでの台湾新港郷との交流の歴史や飛騨市の伝統文化、市特産品の紹介や展示販売を行います。

#### ②【継続】青少年交流活動の推進 (1,242千円)

- ・新港郷の青年と市内学生による相互ホームステイ研修の実施 (継続)
- ・市内小中学校、高校におけるオンライン交流の実施 (継続)

#### ③【継続】飛騨市・新港郷友好クラブの充実 (1,348千円)

- ・市有志職員によるプロジェクトチームによる交流事業の推進
- ・友好クラブ会員向け会報誌の定期発行
- ・新港郷からの古川祭開催に合わせた来日時の交流機会の創設

## **拡充** 国の制度を活用した地域活性化人材の登用

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
34,949	一般財源	委託料 29,900 人件費 5,049
(前年度予算 28,600 )		

### 2 事業背景・目的

人口減少先進地である飛騨市では、様々な分野で人口減少や高齢化に起因する人材不足が深刻となっており、これは市役所においても例外ではありません。

こうしたことから市では、特別交付税による国からの財政支援のある人材活用制度を導入し、基礎的条件の厳しい集落の支援や、市の様々なプロジェクトを推進するための中心人物として活躍いただく人材を積極的に受け入れ、それぞれの活動を通じた地域力の維持、強化を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【拡充】集落支援員の配置 (11,200千円)

地域特有の生活課題への対応や住民ニーズの把握、集落と市役所をスムーズに繋ぐ架け橋役として、地域の実情に詳しい人材を配置します。

- (1) 古川町畦畑地区へ1名配置 (継続)
- (2) 河合地区へ1名配置 (継続)
- (3) 宮川地区へ2名配置 (1名増員：拡充)

#### ②【拡充】地域おこし協力隊の登用 (18,700千円)

- (1) 飛騨市の関係案内所ヒダスケ!の企画運営をはじめとした、関係人口に関する各種支援を行う「関係人口コーディネーター」を登用します。(継続)

(任期：令和2年7月～令和7年3月まで)

- (2) 市内の多様な広葉樹と全国の家具メーカーや木工作家の国産材需要を繋ぎ、市内産小径広葉樹の高付加価値化を目指す「広葉樹活用コンシェルジュ」を登用します。(継続)

(任期：令和2年4月～令和7年3月まで)

- (3) 飛騨産直市そやなにおける店舗運營業務のほか、出荷者向けの農作物栽培技術支援や店舗従業員に対する接客指導などを行う「飛騨産直市そやな店長」を登用します。(継続)

(任期：令和3年7月～令和6年6月まで)

- (4) 河合町の伝統工芸品である山中和紙を後世に残すため、紙漉き職人のサポートを行うとともに、山中和紙の魅力発信、販路拡大を目指す地域おこし協力隊を新たに登用します。(新規)

(任期：令和6年度より3年間)

- (5) 奥飛騨山之村牧場に活動の主軸を置きながら、地域資源を活用した山之村地域の交流人口拡大と、子どもたちや移住コンシェルジュとの連携による山之村地域への移住拡大を目指す地域おこし協力隊を新たに登用します。(新規)

(任期：令和6年度より3年間)

### ③【新規】地域プロジェクトマネージャーの登用 (5,049千円)

国で令和3年度に創設された、自治体のプロジェクトを推進するにあたり、関係者間を橋渡ししつつ、当該プロジェクトをマネジメントできるブリッジ人材を会計年度職員として任用する制度を活用し、飛騨市の交流人口の拡大と市外からの移住定住者の拡大を目指した戦略的なシティプロモーションを担う「地域プロジェクトマネージャー」を新たに登用します。(任用期間：1年以上3年以内)

担当課：	②-1)、③	企画部総合政策課	(☎0577-73-6558)	予算書：P. 46
	①-1)	農林部農業振興課	(☎0577-73-7466)	予算書：P. 100
	②-2)	農林部林業振興課	(☎0577-62-8905)	予算書：P. 106
	②-3)	農林部食のまちづくり推進課	(☎0577-62-9010)	予算書：P. 100
	①-2)、②-4)	河合振興事務所地域振興課	(☎0577-65-2221)	予算書：P. 57
	①-3)	宮川振興事務所地域振興課	(☎0577-63-2311)	予算書：P. 58
	②-5)	神岡振興事務所建設農林課	(☎0578-82-2254)	予算書：P. 57